

衛生看護学科三年生人体解剖実習要領

(1956年5月~7月)

期間：5月23日より7月4日まで、毎週水曜日午後1時より4時半迄。

7月11日(水)より7月24日(火)迄、毎日午前9時半より午後4時半迄。但し土曜日は午前のみ。
(日曜日は休み)

区分：

前半 (5月23日より7月14日(土)迄) に於て上肢及び下肢の解剖並びに観察を行う。

(大よその進行は右表の如し。)

後半 (7月16日(月)より7月24日(火)迄) に於て

胸腹部並びに骨盤部の内臓を主眼とした解剖並びに観察を行う。

(大よその進行は右表の如し。)

注意：

- 細かい個々の名稱に与らぬこと、總論的な事柄に重点をおいて、解剖並びに観察をする。
- 既得の組織的知識と、肉眼の所見の関連を總えず留意し、兩者の統一を計ること。
- フォトリートの20星(☆☆)の名稱は大切であるから進捗には注意し、10星(*)は前者を補う。
- 予習と復習、殊に予習は十分してから実習に臨むことが必要である。
- チームワークを円滑にし、仲良く、協力して学習の果を挙げられる。

上肢	下肢
① 頤、胸部の前壁 (199, 2100)	腹の前壁 (140, 141)
② 腋窩 2枚 (3, 4, 101~104)	大腿前面浅層 (205~207)
③ 上腕、前腕前面 (105, 106, 111~113)	大腿深層 (208~210)
④ 手の掌面 (114~119)	下腿 (215~220)
⑤ 上腕背面 (120~124)	臀部 (211~212)
⑥ 前腕、手の背面 (125~128)	大腿後面 (213, 214)
⑦ 肘節と靭帯 (129~139)	足背と足底 (221~228)
	腓部と靭帯 (229~240)

内臓

- ① 腹壁と胸腔 (142~146, 151~153)
- ② 腹腔概観 (171~178)
- ③ 腹腔の脈管と神経 (179~182)
- ④ 胸部内臓 (147~165)
- ⑤ } 腹部内臓 (183~195)
- ⑥ }
- ⑦ } 骨盤内臓 etc. (247~257)
- ⑧ }

(注意)

上のスケジュールは「大まかものにおき」各個人の能率により、又指導者の指示によって適宜に変更して差し支えなし。